

## 広域アジアものづくり技術・人材高度化拠点形成事業—CIS 活動報告(カタール)

広域アジアものづくり技術・人材高度化拠点形成事業運営委員会 委員 勝又 美穂子  
接合科学研究所 特任准教授

2014年8月23日～9月6日の期間で本年度3カ国目のCISをカタール・ドーハで実施しました。大阪大学外国語学部アラビア語専攻から2名、工学研究科から2名、カタール大学工学部から4名の学生が参加しました。最初の2日間で日系企業の製造業における理念、生産性向上のための多様な活動、コミュニケーションの基礎等について講義を行いました。カタールの文化交流を挟み、休日を除く8月28日～9月2日の期間には千代田アルマナ（千代田化工）で「グローバル化・多文化環境で働くこと」という課題の下、エンジニアリング企業のビジネス活動に関する講義、グローバルリーダー（スマートマネージャー）に必要なもの、プラント建設に係るエンジニアリング業務の疑似体験、ソフトスキル向上のための実習など実践に基づく様々な内容を学びました。9月4日にはカタール大学にて最終報告会を開催し、在カタール

日本大使館津田特命全権大使、千代田アルマナ井川社長、カタール大学 Mazen 副学長を始め、その他大使館職員、千代田アルマナ社員、カタール大学教員・職員が参加しました。大阪大学からは接合研の片山所長、近藤（勝義）教授、言語文化研究科からはアラビア語専攻の近藤（久美子）教授、依田講師、横江特任教授他、カタール現地マスメディア等総勢30名程度の参加があり盛大な報告会となりました。津田日本大使からはCISが人材育成に力を入れるカタールの一助となり、カタールと日本の更なる関係強化に繋がるだろうとのご挨拶がありました。CISの活動では初めてとなる中東地域での実施には、多くの困難が予想されましたが心配をよそに、学生同士非常に硬い友情関係を築き、「グローバル化・多文化環境で働くこと」という課題に対し身を持って答えを見つけることが出来たようです。

